



大西さとし 市議会だより

2015. 10
No.018

高松市議会 平成 27 年

第4回(9月)定例会の報告



◆第4回(9月)定例会

高松市議会は、9月4日から9月18日までの15日間の日程で、平成27年第4回定例会(9月議会)を開催し、平成27年度一般会計補正予算など30議案を可決、議員提出議案2件のうち1件を否決し、1件を継続審議としました。また、請願1件を不採択としたほか、人事案件7件に同意しました。

◆連携中枢都市宣言

●「連携中枢都市宣言」を発表

本市は、9月定例議会において、近隣2市5町による定住自立圏の連携を強化する形での移行を目指す「瀬戸・高松広域連携中枢都市圏」において、中心的役割を担いながら圏域全体の活性化を図るとした「連携中枢都市宣言」を発表しました。

●連携中枢都市圏形成の目的

連携中枢都市圏形成の目的は、人口減少・少子高齢社会にあっても、地域を活性化し経済を持続可能なものとし、国民が安心して快適な暮らしを営んでいけるようにするためには、地域において、相当の規模と中核性を備える圏域の中心都市が近隣の市町村と連携し、コンパクト化とネットワーク化により「経済成長のけん引」、「高次都市機能の集積・強化」及び「生活関連機能サービスの向上」を行うことにより、人口減少・少子高齢社会においても一定の圏域人口を有し活力ある社会経済を維持するための拠点を形成することにあります。

●地方自治体が求められていること

地方自治体には、地域の魅力を高めるとともに、出生率を向上させ、東京圏などへ若者の人口流出に歯止めをかけるべく、なお一層、地域が一丸となった、戦略的かつ的確な対応が求められています。

●新たな広域連携制度である連携中枢都市圏構想への発展的移行

本市では、これまでの圏域における施策の基本方向と将来像を継承しつつ、地域経済の成長分野など、現在の取組をさらに充実させる形で、国が進める新たな広域連携制度である連携中枢都市圏構想へ発展的に移行し、圏域全体のさらなる活性化と魅力ある都市圏域の形成を図ってまいります。

●中心的な役割を担う「連携中枢都市」

本市は、連携中枢都市圏構想において、その中心的な役割を担う「連携中枢都市」として、定住自立圏における取組の成果を踏まえながら、新たな取り組み分野である圏域全体の経済成長の牽引や高次の都市機能の集積・強化に積極的に取り組むとともに、圏域住民の皆様に様々な行政サービスを提供し、生活関連機能が更に楳湯するよう取り組んでまいります。

●決意と宣言

人口減少社会にあっても圏域全体が活力を失わず、圏域内の住民の皆様が、笑顔あふれるものとなるように、また、これまで培ってきた連携市町との信頼関係の下、圏域全体の将来像を見据えながら、本市が圏域の中心都市として、経済的な牽引力を発揮できるよう、積極的に施策・事業に取り組む決意であることを宣言します。

市民の皆様が、夢や希望を抱き続けることが出来るよう、全身全霊で取り組んで参る所存でありますので、引き続きのご支援、ご協力、また叱咤激励を賜りますようお願い申し上げます。

大西 智

平成 27 年度 9月補正予算の概要

- 伊勢志摩サミットに伴い開催させる、G7香川・高松情報通信大臣会合に向けた、本市の情報通信インフラの整備や、栗林小学校の校舎等の建設、新病院の整備事業など、政策課題に取り組むもの
- 国・県が施行する建設事業に係る地元負担金や、国の制度創設等に対応するもの
- 諸般の事情から特に補正を必要とするもの

1. G7香川・高松情報通信大臣会合に伴う事業の実施 (1.2億円)

- ・ G7香川・高松情報通信大臣会合開催支援事業費（開催準備やイベント等に要する経費）
- ・ 観光情報発信・受入態勢整備推進事業費（JR高松駅周辺及び中央商店街フリーWi-Fiエリア整備等）
- ・ 観光コンベンション振興推進費（企業コンベンションによる団体宿泊客を送客する旅行事業者等に対し補助）

2. 政策課題に対応するための事業の実施 (6.3億円)

- ・ 都市交通問題対策事業費（JR高松駅にバス案内表示板の設置等）
- ・ 栗林小学校校舎等建設事業費（栗林小学校の整備）
- ・ ヨット競技場施設整備費（ヨット競技場の再整備工事）
- ・ 新病院整備事業費（新病院の建設工事）など

3. 補助認証、制度の創設に伴う事業の実施 (0.7億円)

- ・ 住民基本台帳事務費（個人番号カード交付事務に要する経費）
- ・ 生活支援・介護予防サービス提供体制構築事業費（生活支援コーディネーターの配置）など

4. 当初予算編成後における情勢変化への適切な対応 (8.2億円)

- ・ 企業誘致推進費（企業誘致を推進するための助成）
- ・ ミッドナイト競輪開催費等（ミッドナイト競輪の開催に伴う諸経費）など

5. 県施行建設事業等に対する地元負担金の措置 (2.7億円)

- ・ 国・県が27年度で実施する事業に対し、地方財政法等の規定に基づき、地元負担金を措置するもの

●9月補正の規模

- ・ 一般会計補正額は、政策課題に対応するための事業費の補正などにより、約12億円の増額補正

区分	補正前	補正額	補正後	(百万円・%)		
				当初予算比	債務負担行為(追加)	
一般会計(A)	161,679	1,156	162,835	101.6	13,459	
特別会計(B)	111,803	737	112,540	100.7		
企業 会計 (C)	病院事業	8,876	35	8,911	106.2	14,535
	水道事業	13,627		13,627		
	下水道事業	21,268		21,268		6,670
全会計 (A+B+C)	317,253	1,928	319,181	101.2	34,664	

連携中枢都市宣言

●本市と連携が想定される圏域の人口の状況

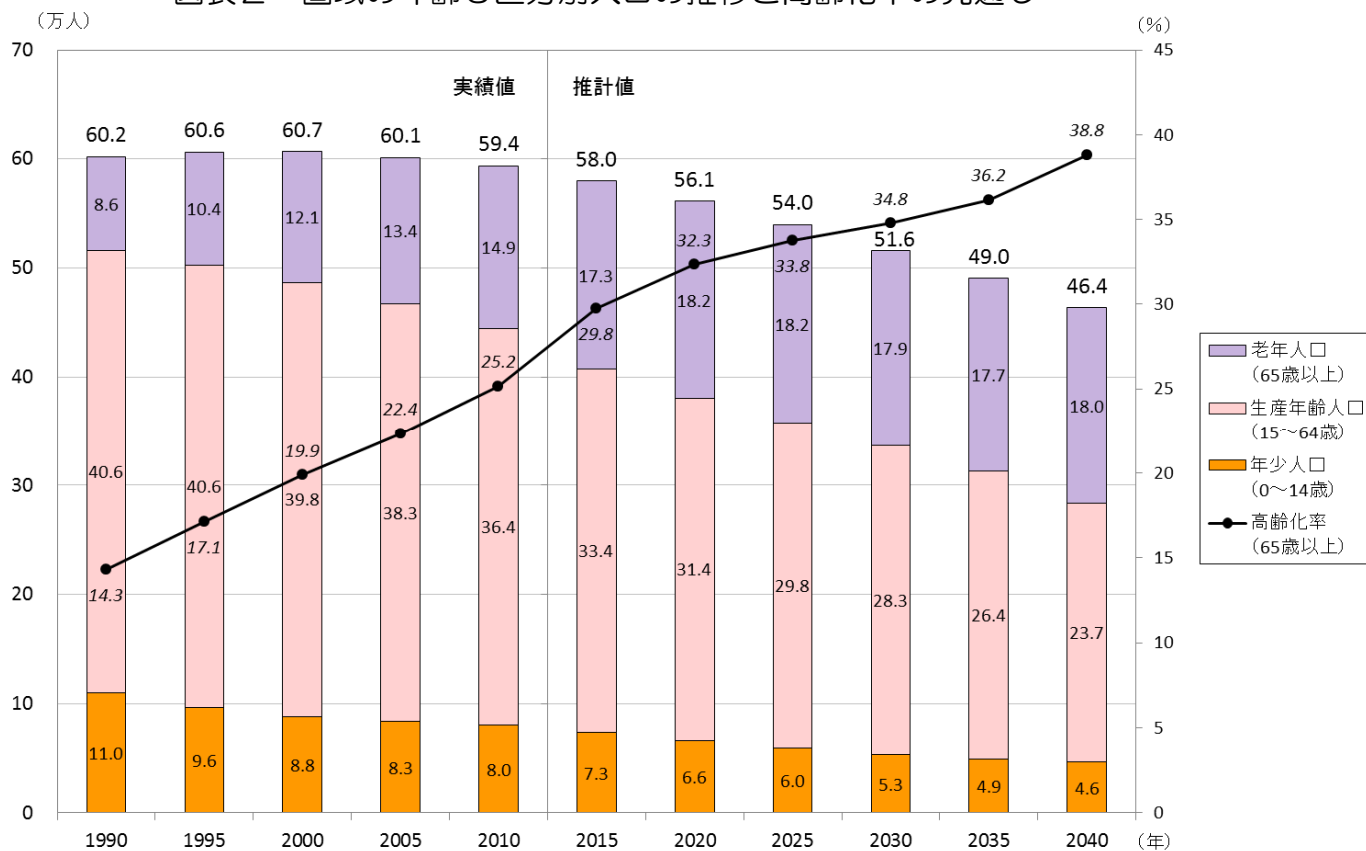
①想定される圏域

図表1 圏域の地図



②圏域内市町の人口の見通し

図表2 圏域の年齢3区分別人口の推移と高齢化率の見通し



(注) 四捨五入の関係上、内訳の数値の合計値と総数が一致しないことがある。

(資料) 総務省「平成 22 年 国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」(平成 25 年3月推計)

活動日記



7/25
四国航空労働組合
第42回定期大会



7/27
高松市議会運営委員会
大津市議会視察



7/31
四電工労組 政策・制度実現委員会
第17回定期総会



8/2
木太町
第21回 あまから水祭り



8/9
香川県民社協会 ユーアイ香川
女木島銅像清掃



8/18,19
地方議員研究会セミナー
「自治体財政と臨時財政対策債」他



8/22
木太地区 体育協会研修会



9/18
木太町
交通安全緊急街頭キャンペーン



9/26
木太幼稚園 運動会



10/1
高松市 戦争犠牲者追悼式



10/4
八坂神社秋祭り



10/9
オイスカ四国支部
第23回 オイスカ四国のつどい

発行:大西さとし後援会

<http://www.ohnishi-satoshi.jp>

◆後援会連絡所

〒760-0050

高松市亀井町7-9 高松電気ビル7階

TEL(087)837-2777 FAX(087)837-8783

◆後援会事務所

〒760-0080

高松市木太町 1849-1-602

TEL 090-8696-1730

